

# 大量データ社会に負けるな地球防衛軍

株式会社日立システムズフィールドサービス  
支社統括本部 東日本支社  
関東支店 関東第1サービス部  
北関東サービスグループ

## 人見 康 隆

『ペイペイ決済ははじめました。』3月末の週末。私は床屋にいた。「へー始めたんですね」これから使って下さいね。現金での会計が済んだころ私の携帯が鳴った。

見ると中部エリアまとめの東海さんからである。ギクリ、さてはと直感した。「出れる？」その一声は事の重大さを確信するのに十分すぎた。「出れるといわれましても、今日はお休みです。待機者は別の・・・」「待機者は別件対応中ですぐに動けない。人見頼む」「了解。向かいます。」

私は栃木県を担当する巡回のカスタマエンジニアである。一直線に会社に向かった。休みの予定は全てキャンセルを覚悟した。もちろん私もプロである。気持ちはすぐに切替えた。電話がお会計後でよかったと。会社からお客先への道中でつぶさに状況が入ってきた。A社様には弊社ディスクアレイ装置が5台あり、その全てがダウン中だ。

ディスク装置は大容量のデータベースで、影響は現在カード決済不可とのことだ。『これはまずいぞ』はやる気持ちの方が先行する。

設置先に到着した。お客様の顔色も青白い。マシン室に何か違和感を覚えた。私はまず謝罪させていただいた。「ご迷惑をおかけして申し訳ございません。」

「人見さんよろしくお願ひします。実は本日分電盤の切替工事日でそこへ瞬間停電で

す。マシン室内への電力供給が1瞬切れしました。工事は完了し復電済みです。」

「情報ありがとうございます。開始させていただきます。」違和感は何なのか、いつもより何かおとなしい様子を感じながらディスク装置を見回した。レディーランプが消えている。正常時にはついているはずの。確かに通電状態であることは確認できた。他のランプで5台共に。私は現在の状況を整理し東海さんに連絡した。

「詳細は分かった。最優先にディスクアレイ装置の起動を頼む。ただし起動には順序があるから気を付けろ。起動順序誤りは許されない。1台毎に慎重に頼むぞ!」「はい。」

私は対象装置の前に立ち製品ラベルを指差呼称した。対象装置の型式・製番確認よし!心臓が高鳴る。A社様装置の起動は設置現調時以来だ。目を閉じると、ふとある日の記憶が蘇った。ディスク装置研修時の光景だ。その研修で偶然、海外部署の方と隣席した。

その方は、以前は米・豪、今回は英国勤務だという。業務はディスク装置のソフトサポートだ。日本にいる間にハード研修にきたという。「人見さんは米・豪・英に拠点がある利点を知っていますか。」「お客様がいるから。」「それもありますが時差への対応があります。8時間毎にどこかの拠点は昼間となります。どこの国のトラブルもどこかのチーム

が支援できる体制を24時間整えているのですよ。」「それはすごい。まるで地球防衛軍ですね。」

期間中偶然に横浜駅で電車で困っている外国人を見つけてしまった。目にいっぱい涙をため路線図を眺めている。横浜駅での乗り継ぎは確かにきつい。関内、新横浜、金沢文庫等苦勞する。そっと素通りしようと思ったが、思い切って声をかけた。幸運は目的地が優しかった事だ。【品川】だった。実際のホーム乗り場に案内した。涙目が笑顔に変わっていた。そんな出来事がありましたということ、海外部の方に話したら大変喜んでいただいた。「それはいいことをしましたね。きっと、日本を好きになってくれたと思います。」

そんなことを思い出した。改めて深呼吸である。集中し起動スイッチをオンした。緊張が

走る。ディスクアレイ装置達は無事見事に起動してくれた。ブーンという力強いFANを回しながら。感じていたマシン室の違和感が判明した。それは瞬停で停止したマシンの止まったFANの静けさであった。しばらくして、業務復旧連絡が入った。その時のお客様の安堵の表情は忘れがたい。「人見さん。迅速な対応ありがとうございました。」

私はお客様を守り、日本中のいや世界中の人が安心して安全に生活できるためのこの日本の高度情報インフラ及び大容量情報化社会を守り、世界と繋がるカスタマエンジニアという仕事に生きがいと誇りを持っている。時に家族に迷惑をかける日もあるが。イギリスは今何時頃だろうか。お客様の安堵の表情と春の日差しに私はやさしく包み込まれていた。